

# 新北區役所に求める 5つのこと

～子育て世代からの5つの提言～

一般社団法人にいがた北青年会議所  
理事長 荘司 忠  
つなげる、つたえる委員会

# はじめに

一般社団法人にいがた北青年会議所  
理事長 荘司 忠



一般社団法人にいがた北青年会議所は、1984年明るい豊かな社会の実現を目指し設立されました。20歳から40歳までの青年が「修練」「奉仕」「友情」三つの信条のもとよりよい地域にするため奉仕活動や地域の社会的課題に積極的に取り組んでいます。

区役所は、時代を超えて変わらない機能とともに、時代の移り変わりとともに果たすべき役割が変化していきます。市民に身近な行政サービスを提供し、自立した地域社会を築くためのまちづくりの拠点、市民と協働の拠点として地域社会を支援する機能、そして、安心安全な防災拠点としての機能などを有していると考えます。また、人口推計から北区でも少子高齢化が進む傾向にあります。

以上の点から新庁舎建設に向けて必要な事は何かを考えた時に広く市民からの声を聞く必要があると考えアンケートを実施しました。次代につながる庁舎とは何か、市民、行政がお互いに身近に感じられ北区らしい地域づくりの拠点としての新庁舎となるようこのアンケート結果を踏まえた本提言者が新庁舎建設に生かされますことを願っております。

# 北区役所移転新築の経緯

平成19年11月～平成20年10月：新潟市区役所整備検討委員会を設置

平成21年5月～平成22年3月：北区役所庁舎整備検討委員会を設置

平成23年1月～10月：北区役所整備庁内検討委員会を設置

平成24年2月～5月：自治協議会「北区役所庁舎整備検討部会」を設置

平成25年4月～平成26年3月：自治協議会提案事業「まちなか賑わい創出事業」を実施

平成26年6月：自治協議会が提案書を市長へ提出

平成27年7月～10月：北区役所新庁舎整備特別部会を設置

平成27年10月～12月：区民説明会を実施

平成28年5月：整備位置の発表

平成28年8月～：北区役所新庁舎基本構想検討会議を設置

## 現状の問題点（回答数が多いもの）

- 駐車場の狭さー646人（35.2%）
- 古さー180人（9.8%）
- 建物内のわかりにくさー147人（8%）
- 立地の悪さー137人（7.5%）
- 職員対応ー40人（2.2%）
- 待合スペースの狭さー19人（1%）
- 土日対応のなさー15人（0.8%）
- トイレー13人（0.7%）



現在の北区役所

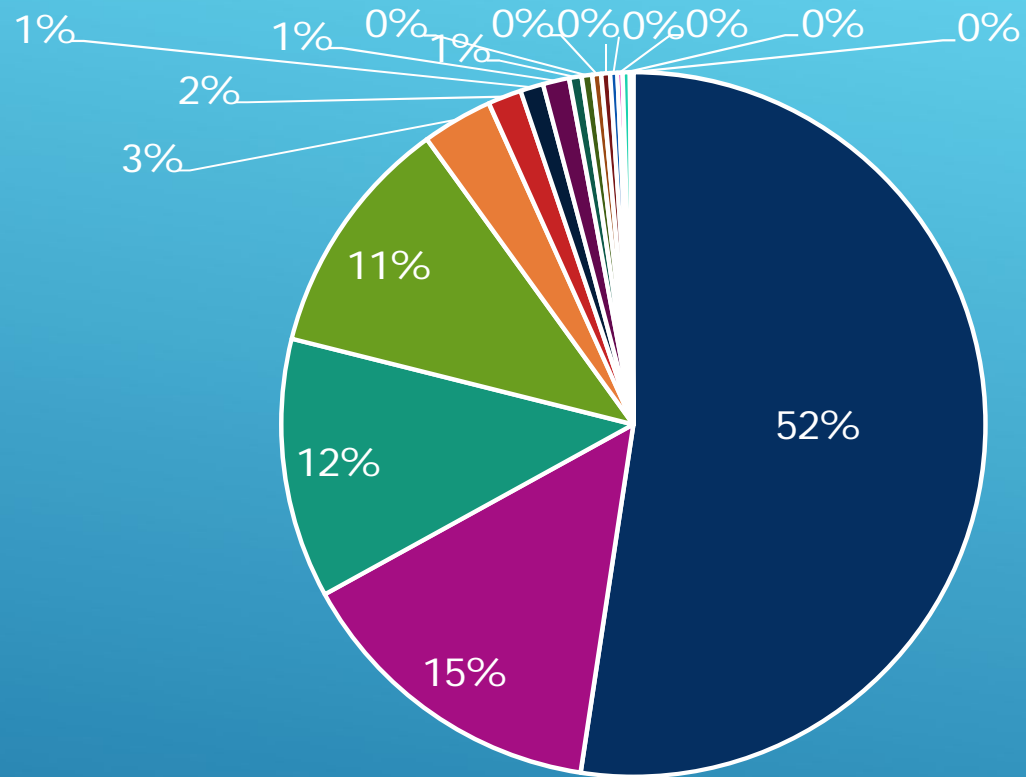
### < 考察 >

駐車場に不満を持っている市民が圧倒的に多いことがうかがえる。また、古さに起因した「わかりにくさ」「トイレ」などが回答が多くなっている。

新区役所では、駐車スペースの確保、わかりやすさ等、利用者目線が求められる。

また、土日対応を求める市民が一定程度いることにも留意する必要がある。

# 現状の問題点



□ 駐車場の狭さ

■ 立地の悪さ

□ トイレ

■ ATMがない

□ 周囲の道路の狭さ

■ コピー機がない

■ 古さ

■ 職員対応

■ 土日対応のなさ

■ 待ち時間の長さ

■ 清潔さ

■ 建物内のわかりにくさ

■ 待合スペースの狭さ

■ 子どもスペース

■ 狭さ

■ プライバシー対応

## 新区役所に求めるもの（回答数が多いもの）

- 子どもの遊び場－184人（10.1%）
- 飲食スペース－101人（5.6%）
- わかりやすい窓口－90人（5%）
- 開庁時間延長－62人（3.4%）
- 商業スペースの充実－55人（3%）
- バリアフリー－43人（2.4%）
- 手続き中の子どもの待ちスペース－40人（2.2%）
- 駐車場の拡充－31人（1.7%）
- 災害対応－30人（1.7%）
- 授乳室、オムツ替えスペース－28人（1.5%）

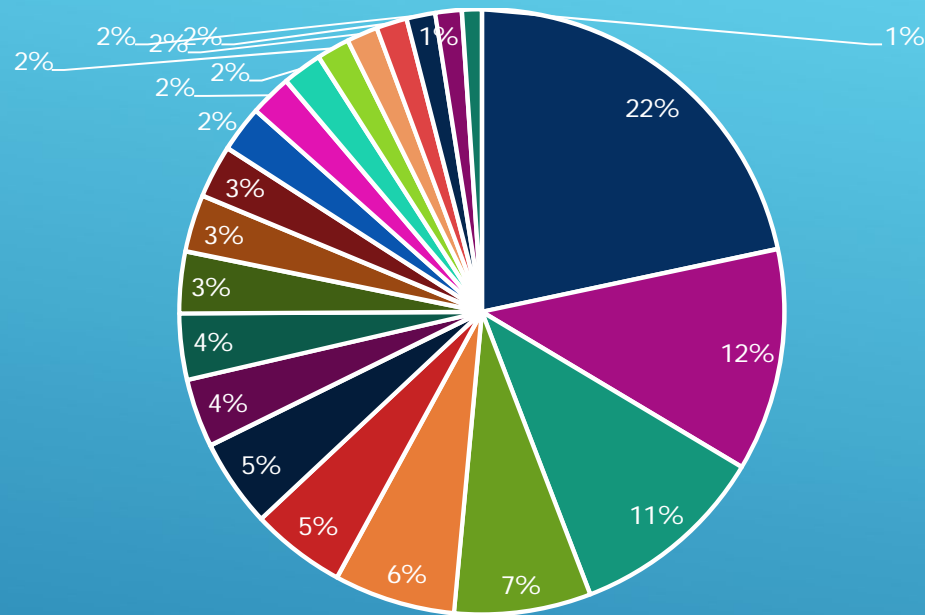
### < 考察 >

「子どもの遊び場」を区役所内に作ってほしいとの要望が圧倒的に多い。これは、北区内に遊び場が不足していることを意味すると考えられる。

また、不満に思っている市民が多かった「わかりやすい窓口」「開庁時間延長」について、新庁舎では解決してほしいとの声が多いことも読み取れる。

一方、駐車場に不満を持っている市民が圧倒的に多かったが、求めるものとしては優先順位が低くなっている。

# 新区役所に求めるもの



□ 子どもの遊び場

■ 飲食スペース

□ わかりやすい窓口

■ 開庁時間延長

■ 商業スペースの充実

■ バリアフリー

□ 手続き中の子どもの待ちスペース

■ 駐車場の拡充

□ 災害対応

■ 授乳室、オムツ替えスペース

■ 入りやすさ

■ 広いトイレ

□ 過剰な設備は

■ プライバシー

□ イベントスペースの充実

■ 多機能トイレ

不要

対応

■ 病児保育

■ 相談スペース

□ 貸しスペース

■ 図書

休日保育

□ 職員対応の向上

勉強スペース

# アンケート結果からみる 新北区役所の3つのコンセプト

「誰でも使いやすい庁舎」

「人の集う庁舎」

「子どもがわくわくする庁舎」



## 提言①

# 子どもが思いっきり遊べる フリースペースの設置

子育て世代が区役所に最も求めていたものは、役所の機能ではなく、「子どもが思いっきり遊べるスペース」でした。

北区は住環境がよく、ベッドタウンとして発展してきました。現在でも、多くの子育て世代が住んでいます。

今後もベッドタウンとして発展する可能性がある街として、「子育てしやすい北区」であるため、区のシンボルである区役所に子どもが思いっきり遊べるフリースペースがあることは、子育て世代への何よりのメッセージになるのではないのでしょうか？



新発田市の「いくねすしばた子どもセンター」多くの子ども達が元気に遊んでいる。

## 提言②

# 利用者にやさしいユニバーサルデザイン

区役所には、様々な状況の方が用事をすませにやってきます。

今までの区役所は、急な階段、使いにくいトイレなど、必ずしもやさしい造りではありませんでした。

新庁舎には、「どなたでも歓迎します」というオープンな姿勢と、誰にでもやさしい設計が求められます。



神戸市の誰でもトイレ

例) バリアフリー、多目的トイレ、授乳室、オムツ替えスペース

## 提言③ 利用者にやさしい窓口

アンケートで、今の区役所のよくない点、今後の区役所に求める点でともに挙げたのが「わかりやすい窓口」でした。区民の方が実際に用事があり区役所に行った際に、窓口がわかりにくいと感じたことがうかがえます。

新庁舎では、利用者が手続きごとに動くのではなく、職員体制を変えるなど、利用者目線のわかりやすい窓口が求められます。同時にプライバシー対応も必要です。知られたくないことなどは、個室での対応なども必要です。



長岡市の総合窓口

## 提言④

# 飲食できるスペースの設置

アンケートでは「飲食できるスペース」「商業スペースの充実」を求める声も多くありました。これは今後区役所に行政手続きを目的に行くだけでなく、周囲に図書館、文化会館があることなどから、何かの「ついで」に区役所に行くことが考えていることが考えられます。

区役所にぶらっと立ち寄り、イートインスペースでご飯を食べながらの休憩、商業テナントで用事を足すなど、立地特性を活かした時間の使い方を提供することができます。

## 提言⑤

# 駐車スペースの拡充

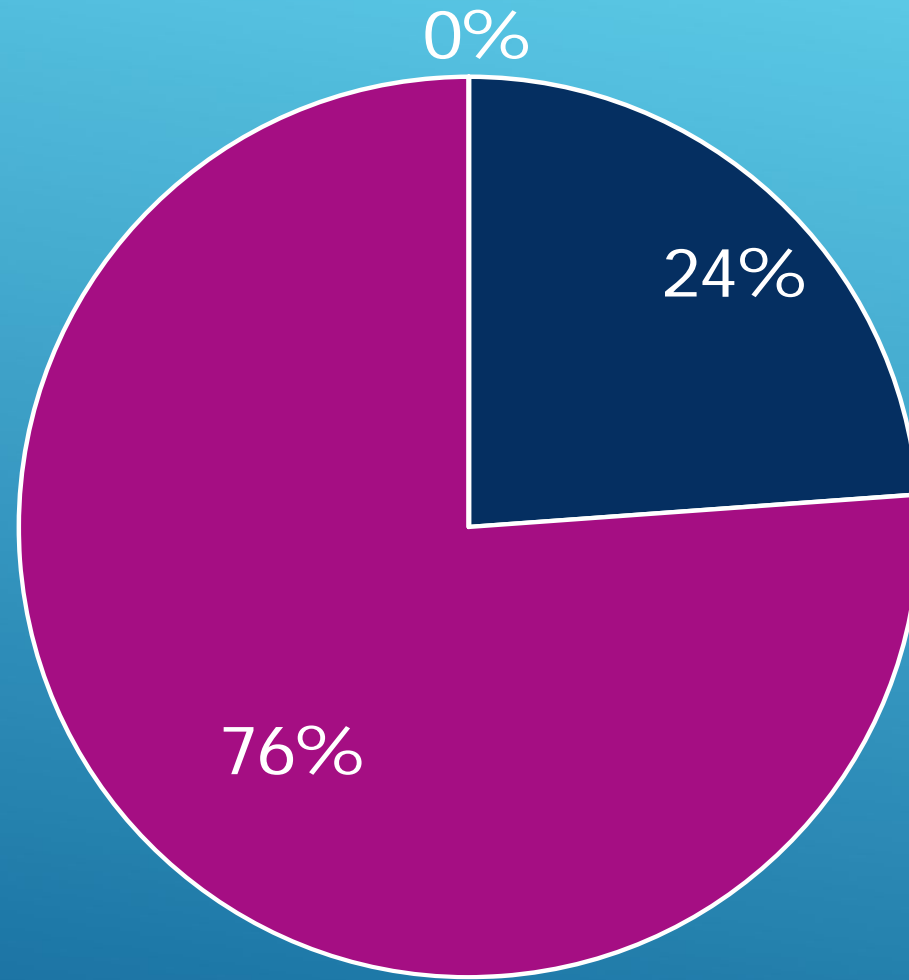
アンケートの中で最も要望が多かった駐車場の確保、利便性の向上です。現状のものは正面入り口から見ると常に満車であるような印象を受ける方も多いのではないのでしょうか。

スペースの確保は移転することで概ね解消されるものと思われませんが、広い駐車場はそれだけ駐車位置から施設までが遠くなります。駐車場内の歩道の整備、悪天候を考慮しての屋根の設置や体が不自由な方への優先スペースの確保等も必要です。

# 参考データ

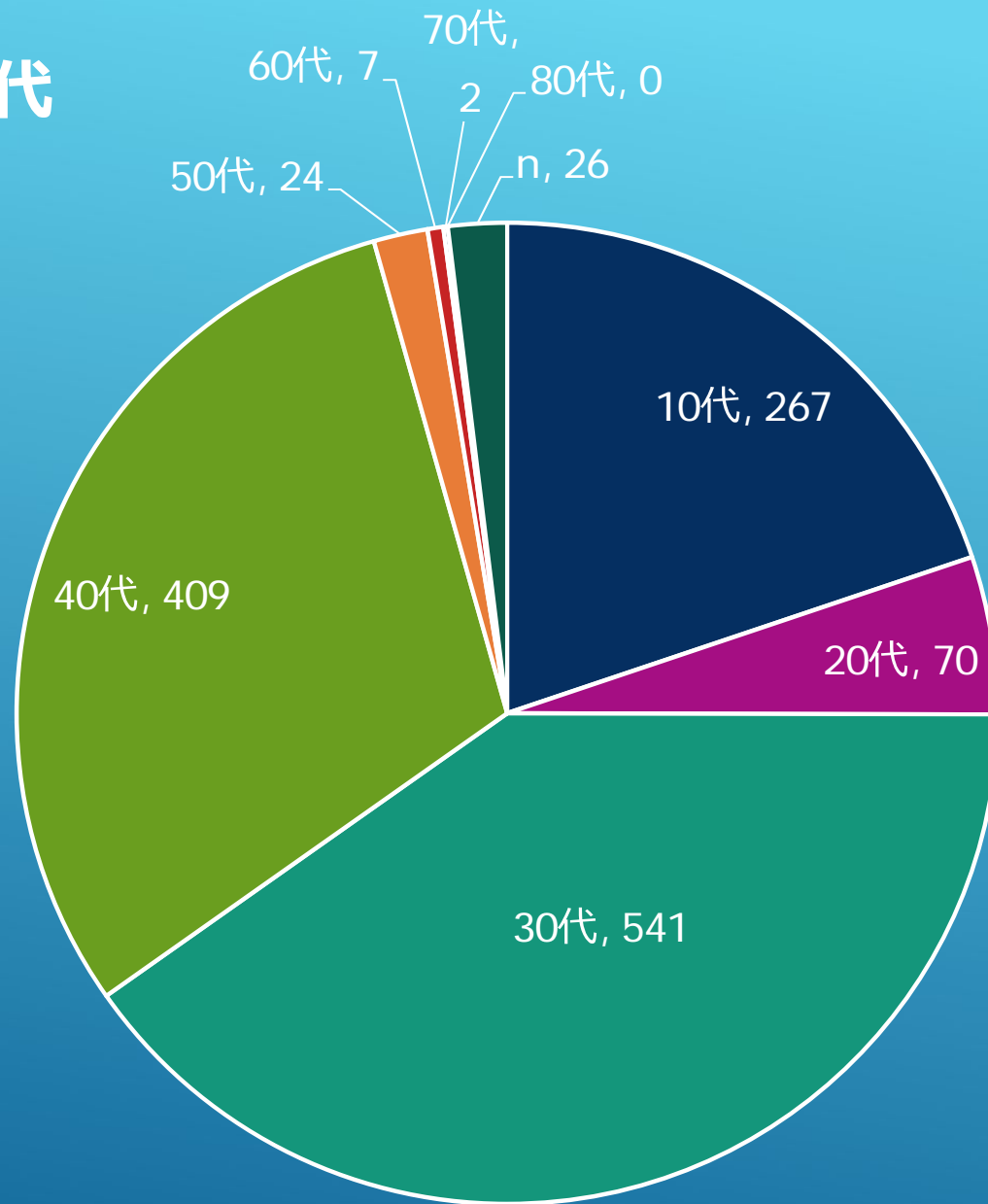
- 9000世帯を対象に10月上旬にアンケートを配布
- 後日2258世帯からの回答を回収

# 回答者の性別



□ 男性 □ 女性 □ n

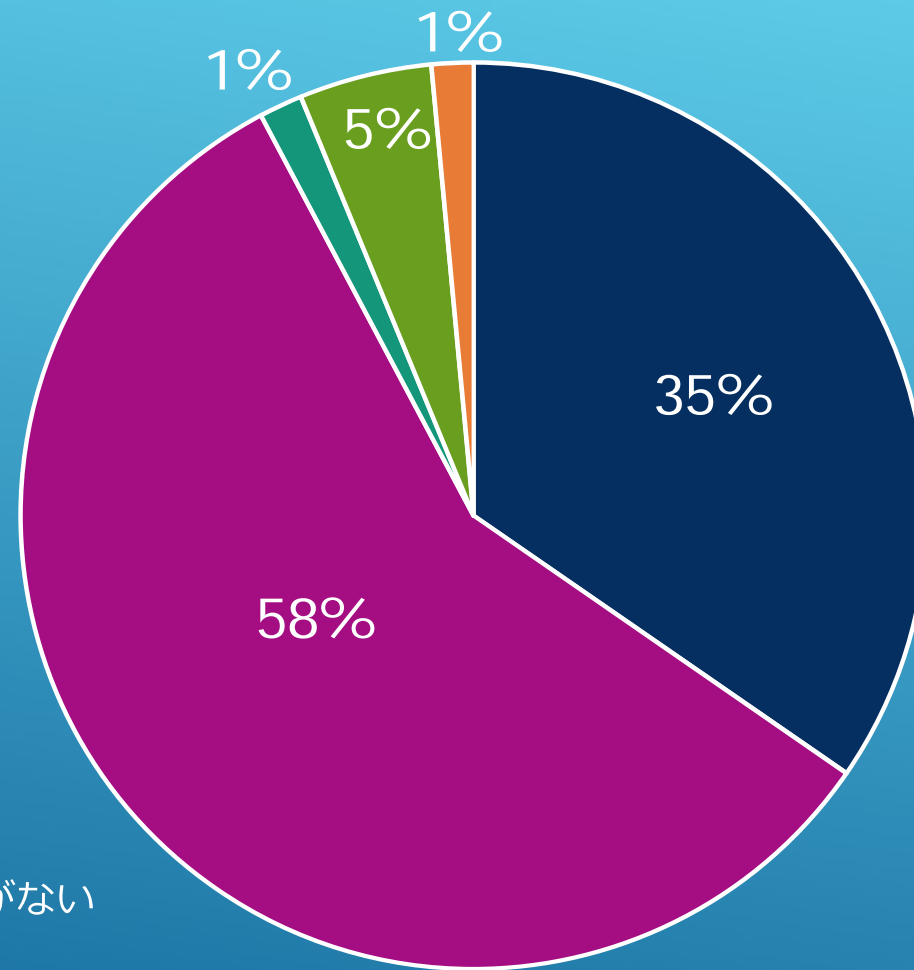
# 回答者の年代



□ 10代 □ 20代 □ 30代 □ 40代 □ 50代 □ 60代 □ 70代 □ 80代 □ n



# 区役所移転の認知度

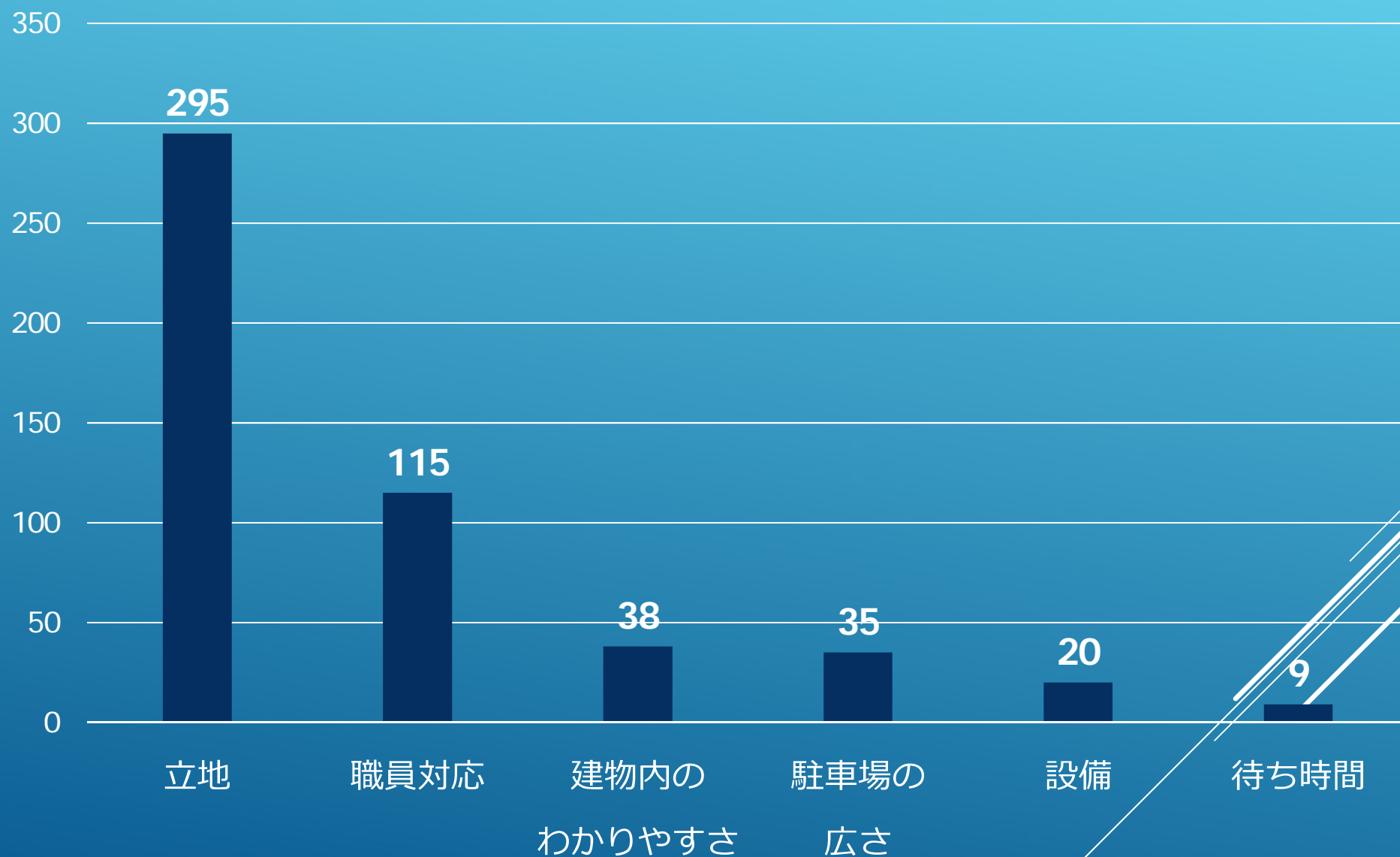


- 1 知っていた
- 2 知らなかった
- 3 知っていたが興味がない
- 4 知らなかったし興味がない
- n 無回答

# 居住地区



# 北区役所のいい部分



# 新庁舎のあり方

